



工程の稼働管理に!!

LoRa 無線方式 警告灯状態監視ユニット、 新発売 !!

- 製造工程に多数ある警告灯の状態を LoRa 無線方式で一括監視 -

2019年10月09日

プレスからの問い合わせ先：
(紙誌面には掲載しないでください)
株式会社アイエスエイ
ビジネス支援グループ
マネージャ 松本 健平
Email : matsumoto@isa-j.co.jp
TEL: 03-3208-1563

株式会社アイエスエイ(略称: ISA、東京都新宿区新宿、代表取締役 三反崎 好弘)は、製造工程等に設置された状態表示警告灯の状態を、長距離通信が可能な LoRa 無線技術を利用して監視を行う

「WD120A/WD120B SIGNAL-monitor 警告灯状態監視ユニット」を11月1日より発売します。

WD120A はパトライト社製警告灯 LR5 シリーズに直接取り付けられ、WD120B は汎用モデルとして各社の旧モデルも含めた多くの警告灯に取り付けられます。

生産ラインでは機器の状態や工程の進捗状況などに各種警告灯が使われ、異常やトラブル発生を周囲の要員にいち早く伝えていきます。工程管理の視点では、これらの発生が一過性の事象であるか、トラブル頻発の予兆であるか等、工程の稼働率を把握し生産性の維持や向上への影響を把握する必要があります。

WD120A SIGNAL-monitor は、警告灯のトップメーカー パトライト社最新の LR5 シリーズの警告灯にワンタッチで取り付けられるモデルです。WD120B SIGNAL-monitor は、その他多くメーカーやモデルの警告灯に配線方式で取り付けられるモデルです。

両者は、警告灯の変化、色、点灯/点滅の種類を監視し、状態が変化したその情報を LoRa 無線通信で親機にあたるデータ収集通信制御サーバに送ります。1台のデータ収集サーバは、最大32台の SIGNAL-monitor と通信を行えます。

LoRa 無線方式は、混信にきわめて有効なスペクトラム拡散方式により、省電力通信で有りながら中間にリピータを設置しなくても長距離通信(見通し距離 11km 以上、密集地 3km 以上)が可能です。これにより、広い工場内でも他の無線通信に影響を受けることなくデータ収集が可能です。

WD120A も WD120B も既に設置されている警告灯の信号を利用するので、電源工事は不要です。そのため導入に係わる時間はわずか、工程のダウンタイムを少なく行えます。

データ収集通信サーバでは、それぞれの SIGNAL-monitor の変化に対して監視条件を設定でき、その状態を検知すると、電子メールでの通知やネットワーク経由で他の機器へコマンドを送信したりできます。

収集された SIGNAL-monitor からの警告灯状態データは、CSV 形式でローカルの PC やサーバに送り出したり、他の稼働管理を行うオンプレシステムやクラウドシステムにインターネット回線、あるいは LTE 回線を通して通信を行います。

また、「ももことあやか WD100 シリーズ」には温湿度などの環境計測用ユニット、既設センサ用計測ユニット等があり、これらを組み合わせて工程の稼働状況や環境情報を一元的に把握することが可能です。

(次ページに続く)



WD120A/WD120B 表示灯状態監視ユニットの特長

1. 旧製品も含めほとんどのメーカー製の警告灯に設置可能

パトライト社最新 LR シリーズ、その他各社の現在稼働中警告灯に付加できます。

2. LoRa 無線方式による遠距離通信

Wi-Fi や Zigbee 等での混信や通信距離の欠点を、LoRa 無線方式の採用により、見通しで 11km 以上、密集地で 3km 以上の通信が可能です。

工場内では、これまでの無線伝送機器では不可能だった通信が、極めて安定して行えます。

3. 取付が簡単、ダウンタイムを最小に

WD120A は警告灯のキャップを外して取り付けるだけ。WD120B は警告灯の配線を指定の端子に繋げるだけの簡単さ。作業は数分で終了します。しかも電源工事は不要です。

4. 豊富なランプ状態把握

警告灯の状態は、色、点灯、点滅、消灯、ブザー、およびこれらの組合せ状態を把握。また、状態変化が起こると自動的にデータ収集通信制御サーバに通知することで、通信量を少なく確実に行えます。

5. 状態変化による通知

事前にデータ収集通信制御サーバに監視条件を設定でき、その状況が発生すると、電子メールでの通知や他の機器へのコマンド送信が行え、現場で起きている状況を遠隔から把握することが簡単にできます。

6. 他の WD100 シリーズ計測ユニットとの組合せ可能

既存の WD100 シリーズ計測ユニットと組み合わせてデータを一元的に収集できます。

7. 上位システムとの連携が簡単

データ収集通信制御サーバは、ローカルの PC やサーバとの連携も行えるばかりか、LTE 通信回線経由でクラウドシステムとの連携も簡単に行えます。

★ ★ ★ ★

WD120A/WD120B 表示灯状態監視ユニットの価格(税別)

本システムは最低本機 1 台と WD100-S32 データ収集通信制御サーバ(親機)1 台の構成が必要です。

1. WD120A	ランプトップ型表示灯状態監視ユニット	35,600 円～
2. WD120B	ユニバーサル型表示灯状態監視ユニット	37,700 円～
3. WD100-S32	データ収集通信制御サーバ (LTE/LAN 対応)	202,000 円
WD100-N32	データ収集通信制御サーバ (LAN のみ)	125,000 円

最大 32 台までの各種計測・制御ユニットとの LoRa 通信を管理します。

動作温度：-10℃ - +55℃ 寸法：W130 x H175 x D45 mm (突起部、アンテナ除く)

【本プレスリリースに関する情報】

添付資料：写真 2 枚

WD100 ホームページ：

「ももことあやか」と入力して検索

顧客問い合わせ先：

ホームページの問い合わせページ、または
TEL: 03-3208-1563

【会社概要】

社名：株式会社アイエスエイ

設立：1979(昭和 54)年 10 月

資本金：1 億円

代表取締役：三反崎 好弘

住所：東京都新宿区新宿 6 丁目 24-16

ホームページ： <http://www.isa-j.co.jp/>

(次ページ続く)



文中の社名、商品名、機種名等は登録商標です。

© 2019 ISA Co., Ltd.

ISA 製品およびサービスに関する保証条件は、製品およびサービスに付属する保証書に明示された保証条件のみによるものとし、本ニュースリリースの記載内容はいかなる追加保証するものではありません。

ISA は本ニュースリリースの記載内容に技術的誤りや欠落、記載にあたっての誤りや漏れがあった場合でも何ら責任を負いません。

2019 年 10 月

